

⑤国営沖縄記念公園

国営沖縄記念公園は、沖縄の本土復帰を記念する事業の一環として、昭和50年に開催された「沖縄国際海洋博覧会」の跡地に設置した「海洋博覧会地区」と、昭和61年度より首里城の復元を進めている「首里城地区」がある。沖縄観光振興の中核施設、我が国を代表する歴史的遺産の継承という重要な役割を担っている。

			海洋博覧会地区	首里城地区
■区分	□	(設置目的)	沖縄国際海洋博覧会記念事業	沖縄復帰記念事業
■所在地			沖縄県国頭郡本部町	沖縄県那覇市
■面積	計画面積		77.2ha	4.7ha
	開園面積		71.8ha	3.2ha

■広域図



■年表

	海洋博覧会地区	首里城地区
S50年度	沖縄国際海洋博覧会跡地の公園設置を閣議決定	
S51年度	国営沖縄海洋博覧会記念公園開園(供用面積36ha)	
S54年度	ちびっことりで、中央ゲート駐車場オープン(供用面積43ha)	

	海洋博覧会地区	首里城地区
S55年度	おきなわ郷土村、おもろ植物園、東駐車場開園(供用面積48ha)	
S59年度		沖縄県が「首里城公園基本計画」を策定
S60年度	熱帯ドリームセンター開園(供用面積60ha)	
S61年度		首里城跡の「国営沖縄記念公園首里地区」としての整備を閣議決定、首里城公園(17.8ha)を都市計画決定
H1年度		首里城正殿建築工事に事業着手
H2年度	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園開園(供用面積69ha)	
H4年度		首里城地区一部供用開始(供用面積1.7ha)
H6年度	マナティー館、ウミガメ館オープン	
H9年度		歓会門、久慶門内側周辺供用(供用面積1.8ha)
H11年度	南地区エントランスゾーン開園(供用面積70.7ha)	
H12年度		首里城跡地の世界遺産登録
H14年度	新水族館(沖縄美ら海水族館)開館	
H15年度	総合案内所(ハイサイプラザ)オープン(供用面積71.6ha)	京の内供用(供用面積2.5ha)
H18年度		書院・鎖之間供用(供用面積2.6ha)
H20年度		書院・鎖之間庭園供用(供用面積2.7ha)
H22年度	オキちゃん劇場リニューアルオープン	淑順門供用(供用面積2.8ha)
H24年度	夕陽の広場展望レストハウスオープン、エメラルドゲート・駐車場オープン(供用面積71.8ha)	
H25年度		黄金御殿・寄満・近習詰所、奥書院供用
H26年度		奥書院庭園供用(供用面積2.9ha)
H27年度		北城郭(西)エリア供用(供用面積3.2ha)

■コンセプト

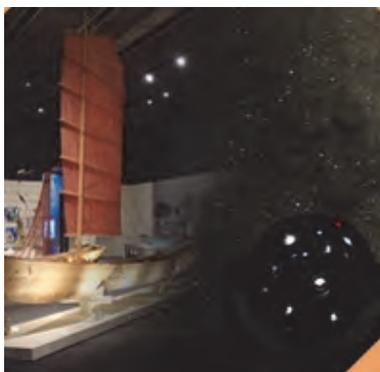
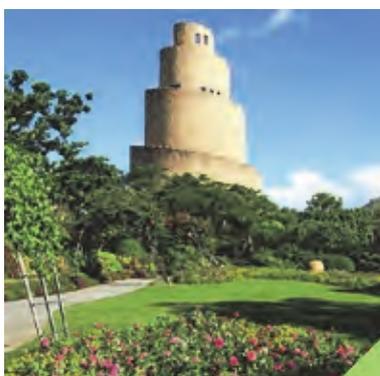
	海洋博覧会地区	首里城地区
テーマ	太陽と花と海	—
理念		
基本方針	<p>①沖縄にふさわしい公園とするとともに、沖縄の持続的な観光振興の中核となる公園とする。</p> <p>②沖縄国際海洋博覧会の記念事業としてふさわしい公園とする。</p> <p>③日本人だけでなく外国の人々にも利用される公園とする。</p> <p>④海との調和を十分考慮する。</p> <p>⑤亜熱帯気候を十分考慮し、四季を通じて利用できるものとする。</p> <p>⑥歴史的・文化的資源を生かした公園とする。</p>	<p>①首里杜(すいむい)構想との整合性及び首里城の歴史的風致に配慮した施設配置計画を行う。</p> <p>②歴史・文化の拠点として魅力ある施設整備を図る。</p> <p>③将来に向かって沖縄の歴史・文化の拠点となるよう多様な活用を図る。</p> <p>④文化遺産の鑑賞、見学、体験という観光形態の充実を目指す。</p>

■施設

<海洋博覧会地区>

歴史・文化のエリア	海洋文化館	沖縄を含めた太平洋地域における海洋民族の歴史や文化を紹介する展示ホールとプラネタリウムがある。
	おきなわ郷土村 おもろ植物園	琉球王国時代(その中でも17~19世紀頃)の沖縄の村落を再現している。御嶽(ウタキ)、拝井泉(ウガミガー)、神アサギといった伝統的な村落形態のなかに、民家や高倉を再現している。
	総合案内所(ハイサイプラザ)、駐車場、公園事務所	
花・緑のエリア	熱帯ドリームセンター	常時2,000株以上のランを展示している3つの温室がある。ランのほか温室には、熱帯・亜熱帯の花々が咲き、トロピカルフルーツが実っている。
	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園	身近に植物を感じて学びながら遊べるエリア。400種を超える植物を集めた植物見本区や、植物のクラフト作り体験ができるバンコの森、無料でグラウンドゴルフができるエリアもある。
	夕陽の広場	東シナ海に面した広場には、子供たちが楽しく遊べるアイテムが盛りだくさんの遊具施設もあり、晴れた日には美しい夕陽が望める。
	海岸遊歩道	沖縄の自然を感じながら散歩が楽しめる遊歩道。
	夕陽の広場展望レストハウス、駐車場	

海のエリア	沖縄美ら海水族館	「サンゴの海」水槽では 800 群体のサンゴを飼育展示、世界最大の魚ジンベエザメや、世界初の繁殖に成功したナンヨウマンタが観察できる大迫力の巨大水槽「黒潮の海」。さらに謎に包まれた沖縄の深海を再現した「深層の海」水槽へと、沖縄の海を丸ごと体感できる。
	オキちゃん劇場 (イルカショー)	青い海をバックに、海洋博公園のアイドル、イルカのオキちゃんとその仲間たちの楽しいショーが見られる。
	ちびっことりで(遊具施設)	施設規模は、3,200 m ² 、日本最大級のネット遊具をもつエリア。テーマは「沖縄の海」。さざ波ゾーン、黒潮ゾーン、大海原ゾーン、深海ゾーンの 4 つのゾーンで、沖縄の海がもつさまざまな特徴を表現。(ネット遊具 208 面、幼児遊具 5ヶ所、ミスト 3ヶ所、休憩所 2ヶ所※車イスでの移動にも配慮した園路設定)
	エメラルドビーチ	「遊びの浜」「憩いの浜」「眺めの浜」3 区分されたコーラルサンドの美しいビーチ。沖縄でもめずらしい礁湖(ラグーン)内にあるビーチで、水質は“A(良い)”と認められ、平成 13 年に「水浴場八十八選」、平成 18 年には「快水浴場百選」に認定されている。
ウミガメ館、マナティー館、イルカラグーン、総合休憩所(美ら海プラザ)、駐車場		



<入園料金>

無料

※園内施設入館料金

		大人	高校生	小・中学生	6歳未満
沖縄美ら海水族館	一般料金 (8:30～16:00)	1,850円	1,230円	610円	無料
	20人以上の団体 (8:30～16:00)	1,480円	980円	490円	
	年間パスポート	3,700円	2,460円	1,220円	
	16:00～入館締切 (4時からチケット)	1,290円	860円	430円	
ムセンドリー 熱帯センター	一般料金	690円	690円	350円	
	20人以上の団体	550円	550円	210円	
海洋文化館	一般料金	170円	170円	50円	
	20人以上の団体	80円	80円	30円	

< 駐車場 >

駐車場名称	最寄り施設	駐車場台数			
		普通車	身障者専用	二輪車	大型
南ゲート駐車場	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園 バンコの森	68 台	3 台	—	3 台
P2 駐車場 ※日によって駐車内容に変更があります。(一般車専用及びバス専用)	海洋文化館 おきなわ郷土村 オキちゃん劇場	175 台 (一般者専用)	3 台	—	44 台 (バス専用)
中央ゲート南駐車場		169 台	3 台	—	—
中央ゲート北駐車場		101 台	3 台	10 台	—
北ゲート前駐車場	沖縄美ら海水族館	71 台	—	—	—
北駐車場(立体駐車場) (高さ制限 2.3m)		1,128 台	27 台	—	—
熱帯ドリームセンター前 駐車場	熱帯ドリームセンター — 夕陽の広場	60 台	2 台	—	—
エメラルドゲート駐車場 (高さ制限 2.3m)	エメラルドビーチ	153 台	12 台	5 台	—
東駐車場(バス専用)	—				66 台
総台数		1,925 台	53 台	15 台	113 台

<首里城地区>

無料区域	首里城復元施設	正殿への道	歓会門	首里城の正門。
			瑞泉門、龍樋、漏刻門、日影台、万国津梁の鐘、守礼門、園比屋武御嶽石門、冊封七碑。	
	正殿周辺	広福門、奉神門、首里森御嶽、下之御庭、右掖門、淑順門、久慶門		
		系図座・用物座	休憩所、情報案内所。	
有料区域	首里城復元施設	京の内	城内最大の祭祀空間。	
		西のアザナ	城郭の西側つくられた展望台。那覇市街地や慶良間諸島が一望できる。	
		南殿、番所	王国時代に製作された漆器、絵画等の美術工芸品などを中心に展示。また、特別展示室では企画展も開催されている。	
		書院	書院は琉球建築と庭園が一体となった空間を体感できる一般見学施設となっており、復元の際に使用した和釘や瓦、継手・仕口、漆喰壁などを展示している。	
		鎖之間	往時の賓客がおもてなしを受けたように、琉球のお茶菓子で接待を体験できる施設として利用できる。(別途有料)	
		庭園	庭園は、書院・鎖之間と一体をなす重要なもので、城内で唯一の本格的な庭園。平成 21 年に建物と庭園が国の「名勝」に指定された。	
		黄金御殿・寄満	黄金御殿は特別展示室等、寄満はイベント等で使用する多目的室等が整備されている。	
その他	ショップ、レストラン	近習詰所	映像コーナー・休憩コーナーとして使用されている。	
		奥書院と庭園、左掖門、首里城正殿、御庭、北殿		
	その他	レストラン首里杜、カフェ龍樋、ミュージアムショップ球陽、ショップ紅型 首里杜館(首里城公園レストセンター)、首里城公園管理センター、駐車場、トイレ		



<入園料金>

対象区域：正殿・奉神門・南殿・番所・書院・鎖之間・黄金御殿・寄満・近習詰所・奥書院・北殿

	大人	中人 (高校生)	小人 (小・中学生)	6歳未満
一般(20名未満)	820円	620円	310円	無料
団体(20名以上)	660円	490円	250円	
年間パスポート	1,640円	1,240円	620円	

<パスポート更新特典>

・首里城公園直営売店のオリジナル商品がパスポート提示で10%割引

※この場合、クレジットカード・電子マネーは利用できない。

抽選で1万円分の商品券を進呈

※抽選は：5月、8月、11月、2月に行う。

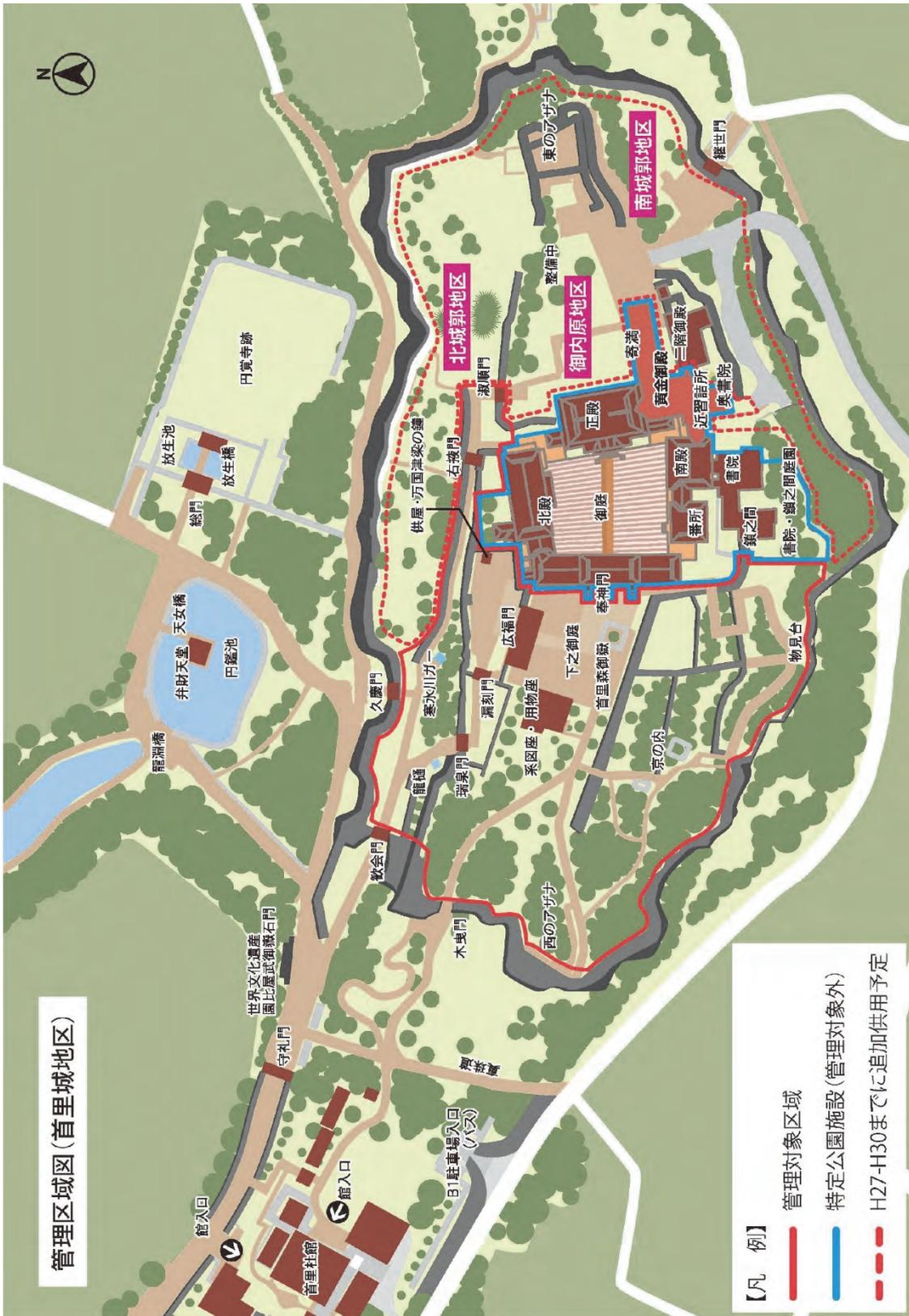
< 駐車場 >

車種	1 回分料金	回数券 11 回分料金
大型車	960 円	9,600 円
小型車	320 円	3,200 円

※回数券の使用期限は発行日より 1 年間

名称	収容台数
首里パーキング 1	30 台
首里パーキング 2	70 台
えんパーク・首里 1	9 台
首里城前駐車場	6 台
守礼駐車場	15 台
城南駐車場	7 台
首里城入口駐車場	20 台
首里城前パーキング	40 台
龍潭前ひまわりパーキング	5 台
タイムズ駐車場首里城前	21 台
三井のリパーク首里城前	13 台

■園内図



■管理

	海洋博覧会地区	首里城地区
利用者数	約 461 万人 (H27)	約 267 万人 (H27)
マスコミ報道等件数	335 件 (H25)	112 件 (H25)
ホームページのアクセス数	7,648,921 件 (H25)	3,806,161 件 (H25)
ボランティア数		



<H29 重点管理項目>

植物管理

【海洋博覧会地区】

- ・優れた自然景観や庭園の手法を活かし、公園の魅力を高める景観形成を図る。
- ・沖縄の亜熱帯気候を活かした四季折々の魅力を感じさせる草花展示、沖縄の自然や歴史・文化を体感できる機会の充実などと共に、利用者サービスの向上に努め、公園全体の魅力を向上させる。
- ・植栽の整序も行いつつ、海と島を望む視点場を整備し、眺望の魅力の向上を図る。

【首里城地区】

- ・歴史的風致景観を回復するために、首里城に関するこれまでの研究成果を踏まえた植栽を行う。
- ・石灰岩域を基盤とした自然植生を回復する。
- ・京の内は、御嶽空間にふさわしい植栽景観が確保されるよう、西のアザナは、城郭内外の眺望を維持するよう植栽管理を行う。
- ・その他の植栽地は、歴史的風致景観および都市公園に求められる機能を確保するための植栽管理を行う。
- ・書院・鎖之間庭園については、露岩とマツ、ソテツの植栽で構成された名勝にふさわしい景観をめざした育成・管理を行う。
- ・奥書院庭園については、鍾乳石を核とした庭石主体の庭園で国王の私的な庭にふさわしい景観をめざした育成・管理を行う。

地域連携

【海洋博覧会地区】

- ・北部地域の観光振興の牽引、アジア・太平洋地域のリーディングパークの構築、新たな国営公園の姿の実現に向けて地域連携、国際連携・国際交流、調査研究・技術開発、普及啓発を展開する。
- ・沖縄県が実施する誘客事業と連動した国内外の誘客推進事業、地域と連携した情報発信や連携事業を推進する。
- ・地域の団体やNPOなどと連携し、公園から地域へ、利用者が地域の交流・環境保全活動へ参加できる仕組みをつくる。
- ・海洋博公園を楽しみ、併せて北部地域を楽しめる仕組みをつくる。

【首里城地区】

- ・沖縄県が実施する誘客事業と連動した国内外の誘客推進事業、地域と連携した情報発信や連携事業を推進する。

施設管理

【海洋博覧会地区】

○ユニバーサルデザインの導入

- ・公園施設長寿命化計画に基づき計画的に維持管理を行うとともに、ユニバーサルデザインの導入を計画的に進める。
- ・高齢者、障がい者、乳幼児連れ、児童、外国人等来園する全ての人の利用に配慮して施設のデザインを行い、安全に安心して快適に楽しめる公園づくりを行う。

○老朽化施設の更新

- ・老朽化施設については、耐震診断・劣化調査、老朽施設の建替え、ユニバーサルデザインを計画的に推進する。

○公園施設の定期点検

- ・遊具等の公園施設の点検を定期的に行い施設の安全性を維持すると共に、園内巡視や交通誘導を継続的に実施することにより、利用者が安全に安心して公園を利用できるようにする。

○サービス向上

- ・遊覧車の車両の見直し（大型化、車両デザインの工夫、台数の増加等）や運行方法の見直し（運行ルート、乗降ポイント、運行情報の提供方法等）を行うとともに、沿道景観の整備や車内でのサービス向上を図る。

○市民参加による修繕

- ・伝統的な建築技術を継承し民家等を良好な状態で維持するため、一般市民も参加した協働事業により修繕作業等を継続的に行う。

○駐車場

- ・駐車場の混雑情報をカーナビや公園のホームページ等を通じて提供するとともに、地元自治体や周辺事業者等との連携により公園内外の駐車場確保に関する検討を進め、混雑緩和や利便性向上を図る。
- ・交通事業者との連携も強化し、公共交通によるアクセスの向上を図り、駐車場需要を抑制する。
- ・沖縄文化・センターゾーン、熱帯亜熱帯環境ゾーンでは、利用促進を図るため、次の主な施設等の魅力と満足度をより高められるよう、施設の改良を行う。また「水の階段」等のその他の施設についても、修景の強化等、施設の改良を行う。

【首里城地区】

- ・未供用区域の復元整備を行う。
- ・復元施設である、正殿の漆の塗り替えを行う。
- ・その他の施設についても、施設・設備の劣化の程度を調査して、計画的に施設改修・更新を進める。
- ・公園施設長寿命化計画に基づき計画的に維持管理を行うとともに、ユニバーサルデザインの導入を計画的に進める。
- ・高齢者、障がい者、乳幼児連れ、児童、外国人等来園する全ての人の利用に配慮し、ホームページ・パンフレット等の五言語表記、最新の ICT の積極的な活用などにより、わかりやすい公園案内やヒューマンサポートを行う。
- ・新たな資料が発見・収集されたことにより、復元整備済み建物等のうち、改修が必要となった建物等については、対応可能な部分から改修していく。

環境保全

【海洋博覧会地区】

- ・目前に広がる礁池、砂浜、海岸岩礁、隆起サンゴ礁の丘や、新たに整備されるイノー体験施設などを環境教育の場に活用する。
- ・地球温暖化防止対策として、省エネルギー機器等の活用により公園内で消費する来園者一人当たりのエネルギー消費量を低減する。
- ・太陽光発電など再生可能・未利用エネルギーを活用する。
- ・屋上・壁面緑化により施設内部の温度上昇を緩和するとともに、雨水を活用する。